

教科名	科目名	学科・学年・類型	単位数
理科	物理基礎	普通科・1年生	2単位
教科書 副教材等	[主たる教材] 東京書籍「改訂物理基礎」 [副教材] 実教出版「ベストフィット物理基礎」 東京書籍「Let's try Note 物理基礎 Vol.0 数学編」 東京書籍「Let's try Note 物理基礎 Vol.1 力学編」		

1 学習目標

日常生活や社会との関連を図りながら物体の運動と様々なエネルギーへの関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、物理学的に探究する能力と態度を育てるとともに、物理学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。

2 指導の重点

- ①教科書の例題や副教材の基本問題などを解きながら、教材の基本的な内容を理解し、基本的な技能を修得させる。
- ②応用問題や記述形式の問題演習を通じて思考力、判断力、表現力を育成する。
- ③実験や作業、議論などにより自己分析力や協同する力を育てるとともに、身近な現象との関連を考察することを通して学びに向かう力を涵養する。

3 学習計画

月	単元名	教材	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
4	1 編 物体の運動と エネルギー	1 章 運動の表し方	1 節 速さと等速直線運動	10	定期テスト
5			2 節 直線運動の加速度		
6	1 学期中間テスト	2 章 さまざまな力とのはたらき	3 節 落体の運動	1	授業の取組 ノート提出
7	1 学期期末テスト		1 節 力とつり合い	10	実験の取組 実験レポート
9	2 学期中間テスト		2 節 運動の法則		
10		3 章 力学的エネルギー	1 節 仕事	1	
11			2 節 運動エネルギーと 位置エネルギー	3 節 力学的エネルギーの保存	8
12	2 学期期末テスト	1 章 熱	探求活動	2	1
1	2 編 さまざまな物理 現象とエネルギー		1 節 熱と温度	5	5
2		2 節 熱の利用			
2	2 学期期末テスト	2 章 波	1 節 波の性質	9	1
3			2 節 音と振動		
1	学年末テスト	3 章 電気と磁気	1 節 電流と電気抵抗	6	6
2			2 節 交流と電磁波		
2	学年末テスト	4 章 エネルギーとその利用	1 節 さまざまなエネルギー	5	5
3			2 節 エネルギーの利用		
3	学年末テスト	終章 物理学が拓く世界	探求活動	2	2
			探求活動	2	

計 64 時間 (55 分授業)

課題・提出物等

- ・長期休業中の課題
- ・週末課題 (随時)
- ・実験レポート
- ・ワークシート

他

5 評価規準と評価方法

評価は次の観点から行います。			
(関心・意欲・態度)	(思考・判断・表現) (技能)		(知識・理解)
関心・意欲・態度	思考・判断・表現	観察・実験の技能	知識・理解
日常生活や社会との関連を図りながら物体の運動と様々なエネルギーについて関心をもち、意欲的に探究しようとするとともに、科学的な見方や考え方を身に付けている。	物体の運動と様々なエネルギーに関する事物・現象の中に問題を見いだし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	物体の運動と様々なエネルギーに関する観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。	物体の運動と様々なエネルギーについて、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。
以上の観点を踏まえ、 ・授業の取り組み ・ワークシートや課題への取り組み ・定期テストや授業中に行うテスト ・実験への取り組み ・提出物 などから総合的に評価します			

6 担当者からの一言

<p>授業内容は、その授業内で理解するように努めること。 授業で学んだことは、その日のうちに復習すること。 問題集で多くの問題を解き、知識の定着と技能の修得に努めること。 疑問や理解できなかった事柄はそのままにせず、積極的に質問すること。</p>	(担当：内山素良)
--	-----------